

仙台自立の家後援会報

～ 第53号 ～

令和6年4月1日 発行
発行責任者：仙台自立の家後援会
会長 馬場 護

〒989-3206 仙台市青葉区吉成台二丁目12-24
TEL:022(303)0260 FAX:022(719)4055
E-mail:sjiritu@msd.biglobe.ne.jp
<http://www5e.biglobe.ne.jp/sjiritu/>

地域に根差した福祉施設を目指して

最大震度7の令和6年能登半島地震は、能登半島から富山県、新潟県、福井県に及ぶ広範囲の地域に大きな被害をもたらしました。いまだ被災したままの状態の人も多く、復興は思うように進んでいません。

大災害が起こるたびに災害への備えの大切さが言われています。仙台自立の家でも日頃から災害発生に備えて防災訓練などを行っています

が、施設単独で災害に備えることは不可能で、どうしても地域の方々の協力は欠かせません。地域住民の理解・協力が得られるように、日頃から施設側から地域住民へ働きかけていく積極的な取り組みを行わなければなりません。

そのために、仙台自立の家では地域の特性を考えて、次に掲げる活動を行い、地域に根差した福祉施設の実現を目指しています。

1. 地域住民を対象とした福祉学習

仙台自立の家には水、食料、毛布等の防災備蓄品があり、いざという時には地域住民にも使っていただけます。今後は町内会での講習会等に参加し、災害時の応援体制について周知を図りたいと考えています。

2. 中学生実習生の受け入れ

中学生に職場体験学習の場を提供し、地域にある福祉施設に理解と関心を深めてもらう取り組みを進めます。

3. 高校生への現場学習

高校生に対して、障害者福祉の援助技術を身に着的けていただくために現場実習を受け入れています。

4. ソーシャルワーク実習の受け入れ

社会福祉士の資格取得を目指す学生に現場実習の場を提供しています。また、個人を支援するために多様な福祉サービスが提供されていることを理解してもらい、次世代の福祉の担い手

の養成に資することを目的としています。

5. 有事に備えネットワークへ参加

災害時には、主に学校が避難所になることが想定されます。被災者の中には福祉的支援を必要とする人もいますので、仙台自立の家が支援に回れるようにネットワークに参加しています。仙台自立の家は指定福祉避難所(次ページ)でもあるので、行政から要請があれば2次避難所として開設されます。近くには同様の指定福祉避難所があるので、協力して運営にあたりたいと考えています。



消火器放水訓練の様子(2020年)

福祉避難所の開設と運営

1. 福祉避難所とは？

福祉避難所は、地震や風水害その他の災害に遭った被災者のうち、特に福祉的配慮を要する人を受け入れるために、二次避難所として設置されます。

仙台自立の家は令和5(2023)年に仙台市と福祉避難所に関する協定を結びました。障害者用トイレがあり、床がフラットであるなどのハード面で地域に貢献できると考えております。

行政から開設要請を受けると仙台自立の家は福祉避難所を開設します。24時間の施設管理体制と避難者の受け入れに必要なスペース・環境の確保が求められます。対象者に必要な物資等の調達や相談支援体制は原則行政が行いますが、可能な範囲で施設側の物品を提供することもできます。

開設期間は原則7日以内ですが、能登半島地震の被災地では、開設できた福祉避難所が想定よりも少なかったこともあり、もっと長い期間にわたって開設されています。

2. 事業所の課題

多くの災害現場で繰り返されている問題の一つに「単独事業所の孤立化と過度な負担」があります。大きな災害下では、行政の支援が届かず、単独事業所だけで当分の間持ちこたえなければならない状況になります。また福祉避難所の開設要請が来る前に被災者がどんどん避難してくる可能性も十分あります。さらに職員が被災していればマンパワーに重大な支障をきたします。このように避難所での実務(見守る、連絡する、届ける、記録する、など)を施設単独で遂行しなければならない状況になった時にどう対応していくかが今後の課題の一つと言えます。

3. 地域との連携の必要性

仙台市と福祉避難所の協定を結んだ事業所は近隣に数箇所ありますが、ほとんどは高齢者施設であり、平時において交流することはありません。しかし、お互いの強みを持ち寄って支えあうことは可能ではないかと考えます。平時においても情報交換できるような関係性を、今後も探っていく

ます。

また地域防災組織との連携の中で、非常時に協力いただける応援ボランティアの呼びかけも必要で、そのような関係性が構築できればと願っています。

さらに、青葉区障害者自立支援協議会(サポネットあおば)

への参加を通して、事業所間の「顔が見える付き合い」を続けたいと考えます。それにより、災害支援ネットワークが立ち上がった時、すぐにネットワークに加わることが期待できます。

このように地域に根差した福祉施設を目指すことによって非常時における孤立化を解消し、マンパワー不足を解決する手掛かりが得られることが期待されます。



台風 19 号による雨漏り (2019)



福島県沖地震 (2021 年)

はあとふるギフトコレクションズ —お礼とお願い—

前回の「はあとふるギフトコレクションズ Winter.2023」セールでは、お陰様で

多くのご注文を
賜り、売り上げは最高の
134,240円となりました。誠にありがとうございました。



つきましては今回も「Spring2024」の案内を同封させていただきますので、ご協力いただければ幸いです。前回、特に売り上げが多かったのがBセット（3種の焼菓子詰合せ）とCセット（焼菓子と佃煮、乾物、しそ巻きの詰合せ）でしたが、今回、新しく缶クッキーの詰合せもご用意致しました。詳しくは同封の「はあとふるギフトコレクションズ Spring2024」のチラシをご覧ください。

利用者インタビュー

伊藤 敦さん(32歳)

仙台市内の他の施設に11年通所していましたが、お菓子の作業部門が閉鎖されるため、仙台自立の家に2月から通所することになりました。

赤 間：仙台自立の家に通ってどうですか？

伊 藤：まだ慣れてはいませんが楽しく生活しています。

赤 間：お菓子作りが好きなのですね？

伊 藤：パウンドケーキを作るのが好きです。自分で生地作りを全部したいと思っています。

赤 間：他に好きなことはありますか？

伊 藤：アクションゲームが好きです。オセロをやるのも好きです。

赤 間：お昼休みにオセロのゲームを他の利用者とやっていたね。

伊 藤：他の利用者と対戦して1回だけ負けてしまいました。

赤 間：それは残念でしたね。

伊 藤：(にっこりとほほ笑む。)

赤 間：これからも元気で楽しく仙台自立の家に通ってくださいね。お菓子作りも頑張ってください。

伊 藤：ありがとうございました。



【 計 報 】

仙台自立の家の元理事長で本会の参与であられた本多毅様は2月12日逝去されました(享年97)。

本多様は、仙台自立の家の設立に尽力されるとともに、初代理事長として献身的に自立の家を支えてこられました。また利用者や職員に気軽に声をかけて下さる気さくな方でもありました。

昨年5月19日に自立の家で開かれた設立

25周年記念式典に参列いただいたのが本多様にお会いする最後の機会となりました(その時の写真です)。長年に亘る多大な貢献に厚く感謝申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。



令和6年度仙台自立の家後援会総会のご案内

下記により令和6年度仙台自立の家後援会総会を開催します。ご多様中とは存じますが出席下さるようお願いいたします。

- ・日時：令和6年5月11日(土)11時～12時
- ・会場：仙台自立の家 TEL:022-303-0260

＊送迎：地下鉄旭ヶ丘駅より(10時30分発)

ご希望の方は自立の家までご連絡ください。

＊バス：地下鉄泉中央駅①番乗り場 仙台市営バス南吉成行き9時40分発に乗車、「国見ヶ丘1丁目北」下車、徒歩5分です。

会費納入のお願い

後援会の皆様には日頃より仙台自立の家の運営にご協力頂き、厚く御礼申し上げます。会費は利用者への昼食提供と期末工賃補助、施設運営の支援、会報の発行などに使わせて頂いております。令和6年度についてもご協力をよろしくお願い申し上げます。

年会費は3,000円以上任意となっております。払込取扱票を同封致しますが、窓口での振込

では手数料(203円)が振込額から差し引かれますので、ATM(152円)で振り込み頂くか、施設へ直接お持ちいただければ幸いです。

また、現金やATMでの払込みでは110円の取扱手数料がかかりますので、ゆうちょ銀行の通帳かキャッシュカードでの振り込みが便利です。

編集後記

新春早々、仙台でも緊急地震速報が鳴り、能登半島で甚大な被害をもたらす地震が起きました。この地震で亡くなられた方々、被害を受けられた方々に心からのお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

この地震が山の多い半島で起こったことも災いして、ライフラインが大規模に破壊され、復旧には長い道のりがかかることが懸念されています。こうした中で、災害時における福祉施設の役割が改めて浮き彫りになりました。

今号では、災害時等に福祉施設に求められる対

応や仙台自立の家の備えの現状等についてまとめて頂きました。現状を知る上での手がかりになれば幸いです。

後援会役員の改選について

当後援会の役員の任期は2年となっております、今年は改選の時期にあたります。つきましては5月の総会に向けて、役員の改選について相談する予定です。自薦、他薦を含め、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。